

一般会計当初予算の主な事業を紹介します。

- 婚活イベント開催経費 **60万円**
婚活イベントを開催する経費
- 定住促進経費 **330万円**
総社市への定住を促進するため、総社の魅力を全国へPRしたり、昭和地域に定住する人へ助成金を交付する経費
- コンプライアンス推進経費 **473万円**
職員の法令順守、倫理意識向上のための環境、体制を整備する経費
- 本庁舎トイレ・玄関・外壁改修事業① **1億円**
本庁舎のトイレの洋式化、玄関の自動ドアエリアの整備、外壁の補修を行う経費
- 総社市新生活交通事業② **7040万円**
交通弱者の交通の便を確保するため、戸口から戸口へ送迎する手段である「雪舟くん」を運行する経費
- 防犯灯設置事業 **1500万円**
夜間照明計画に基づき、市が新規に防犯灯を設置する経費
- 地域づくり一括交付金 **7575万円**
地域が自立し、独自性をもって活動できるよう、環境や防犯、防災などそれぞれの活動ごとに分かれていた補助金を統合し、一括して地域づくり協議会に交付する経費
- そうじゃ吉備路マラソン大会経費③ **2487万円**
そうじゃ吉備路マラソン大会を開催する経費



① 本庁舎玄関を誰にも優しい快適空間に改修する



② 1日平均250人が利用している「雪舟くん」



③ 平成28年2月28日の開催予定のそうじゃ吉備路マラソン

総務費



総社の未来を見据えた緊縮型

セカンドステージ予算

平成27年度の一般会計や7つの特別会計、公営企業会計の当初予算が3月定例会市議会で決まりました。未来を見据え、無駄な部分を徹底的に削減した緊縮型予算となりました。そのようななかで、自立する総社市のセカンドステージに向け、「一括交付金制度による支え合いまちづくり」、英語特区によるひとづくり、「子育て王国そっじゃ」や「障がい者千人雇用」の推進など、総社市流の政策をスピード感をもって展開していきます。

問い合わせ 財政課財政係 (☎) 82228

一般会計と7つの特別会計、2つの公営企業会計の平成27年度当初予算が決まりました。予算の編成にあたっては、原則として予算要求の段階から前年度の額を上回らないよう取り組むとともに、地域づくり一括交付金や、地食べ事業、雪舟くん、英語特区など総社市流の政策をさらに進めていけるよう工夫を凝らした予算としています。

一般会計の総額は

261億3000万円と、前年度当初予算と比べ14億3000万円、率にして5.2%の減です。特別会計の総額は、前年度当初比9.2%増の182億4200万円。水道関連の公営企業会計は、前年度当初比7.1%の増で、22億8260万円。全会計の合計は466億5460万円で、前年度当初比0.6%の増となりました。

一般会計の額が減った主な要因は、順次行ってきた小中学校校舎の耐震化事業に一定のめどがついたことや、清音神在本線改良事業がピークを越えたことなどによるものです。一方で、子育て支援や医療など社会保障関係経費は増加し、引き続き厳しい財政運営が続くと予想されます。

また、市の借金である市債の償還は、約27億770万円と前年度当初比で3.0%減ったものの、支出の10.6%を占めています。

財源不足は、財政調整基金などの市の貯金を取り崩して充てています。取り崩し額は、約13億5504万円で、前年度に比べ1億9860万円、17.2%の増となっています。

安定した財政運営を維持できるように、引き続き、経費の節減、事業の必要性や緊急性の検討をするなど、一層の健全化に努めます。また、企業誘致を進めるなど、新たな財源確保に取り組みます。

民生費



④ ガソリンスタンドで洗車や給油の仕事を



⑤ 職員室と保育室の改修、調理室の増築を行うきよね認定こども園

- 生活困窮者自立支援事業 **3001万円**
生活困窮者の相談窓口を設置するとともに、訪問支援を行い自立の促進を図る経費
- 障がい者千人雇用事業④ **1890万円**
障がい者の雇用促進と就労の安定化を目指し、就職面接会や講演会を行うなど、福祉から就労への支援を行う経費
- 私立保育所等運営委託事業・私立保育所助成事業 **14億4046万円**
私立保育所11カ所と公設民営保育所1カ所の運営経費と一時預かり・延長保育といった特別事業などへの補助金
- 小児医療費支給事業 **2億4998万円**
小学校6年生修了前までの外来と入院、中学校3年生修了前までの入院にかかる医療費を無料にする経費
- 認定こども園整備事業⑤ **8513万円**
清音幼稚園・清音保育園の認定こども園移行にあわせ、入所定員を増員するため、施設を改修する経費